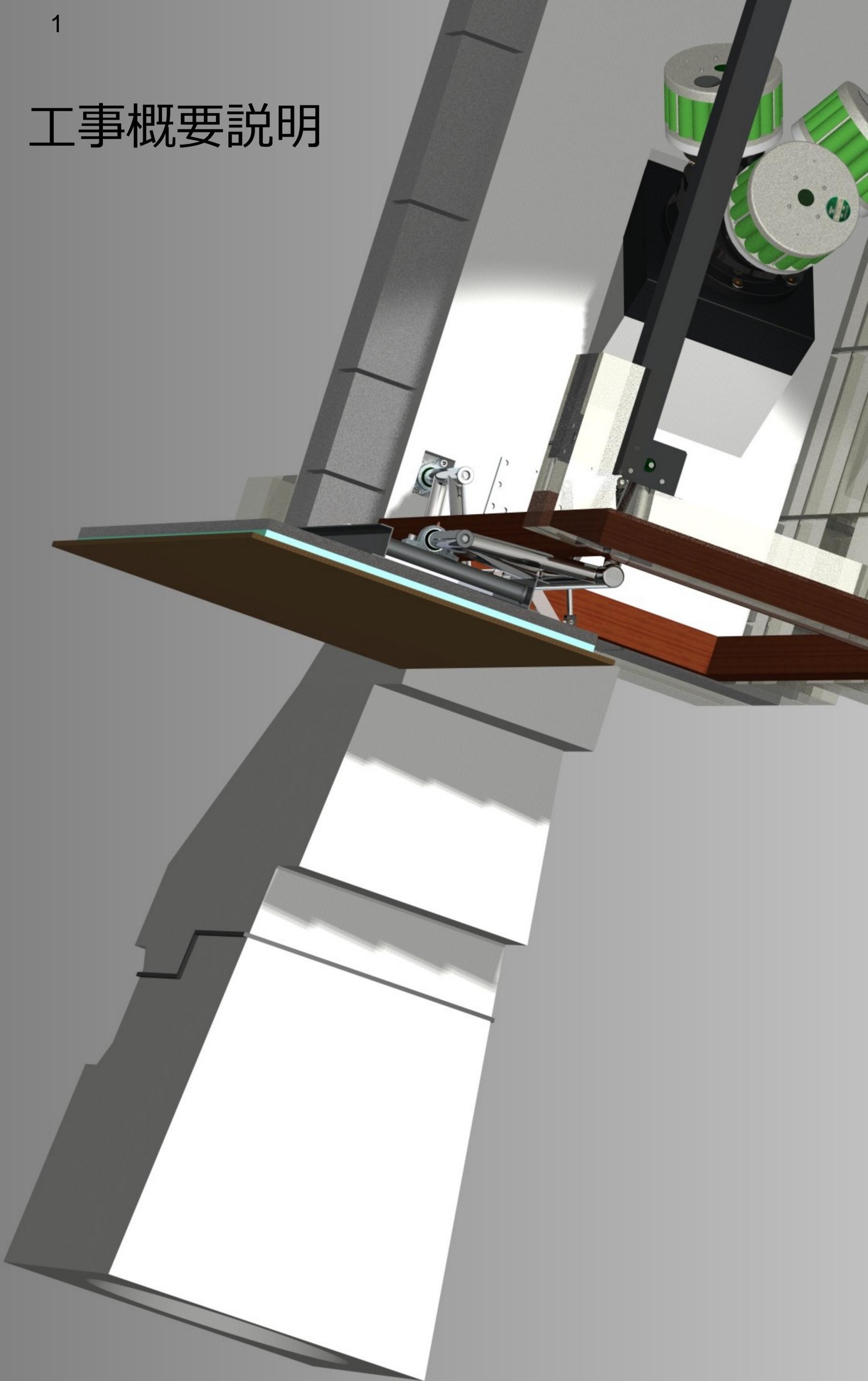


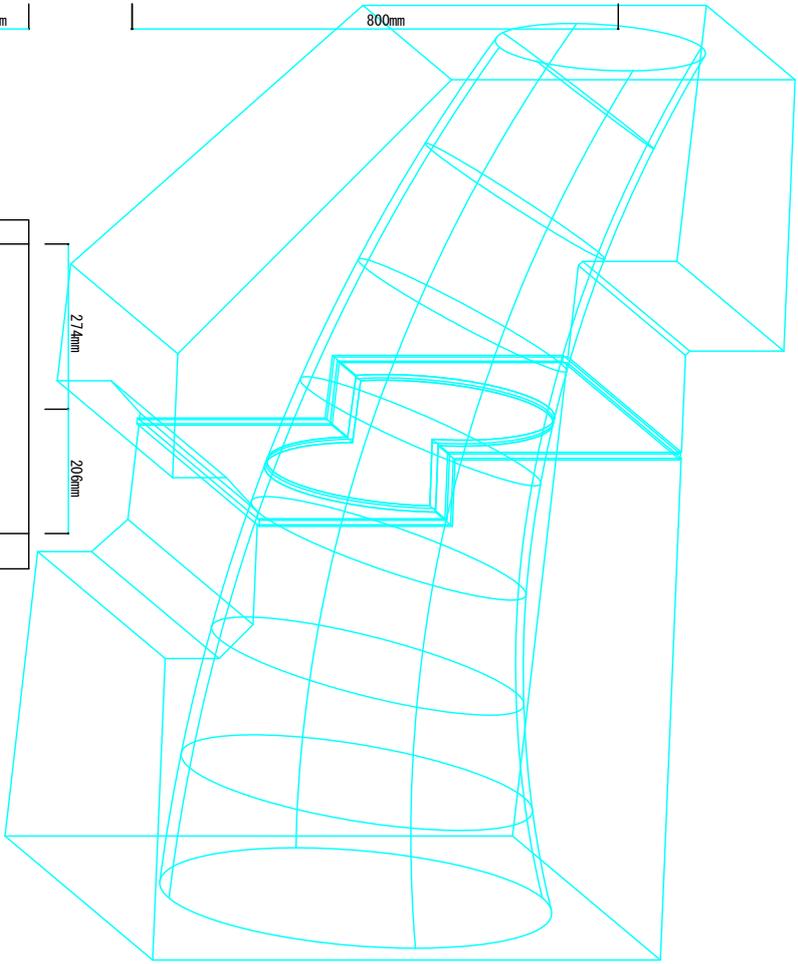
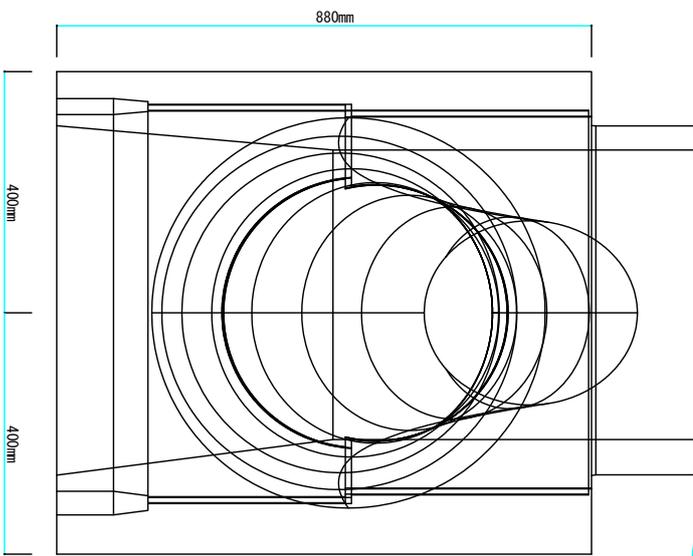
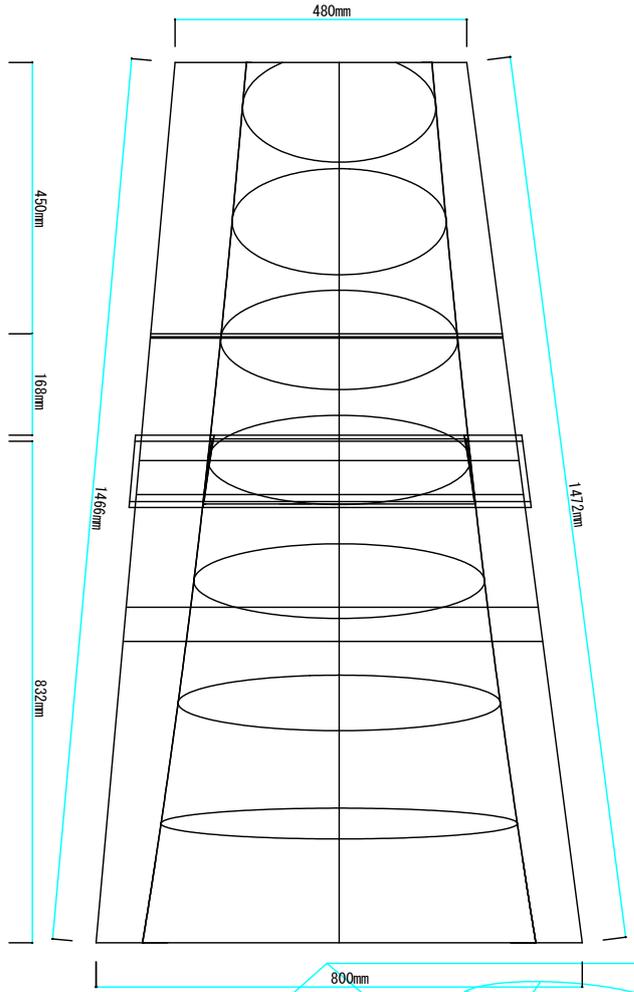
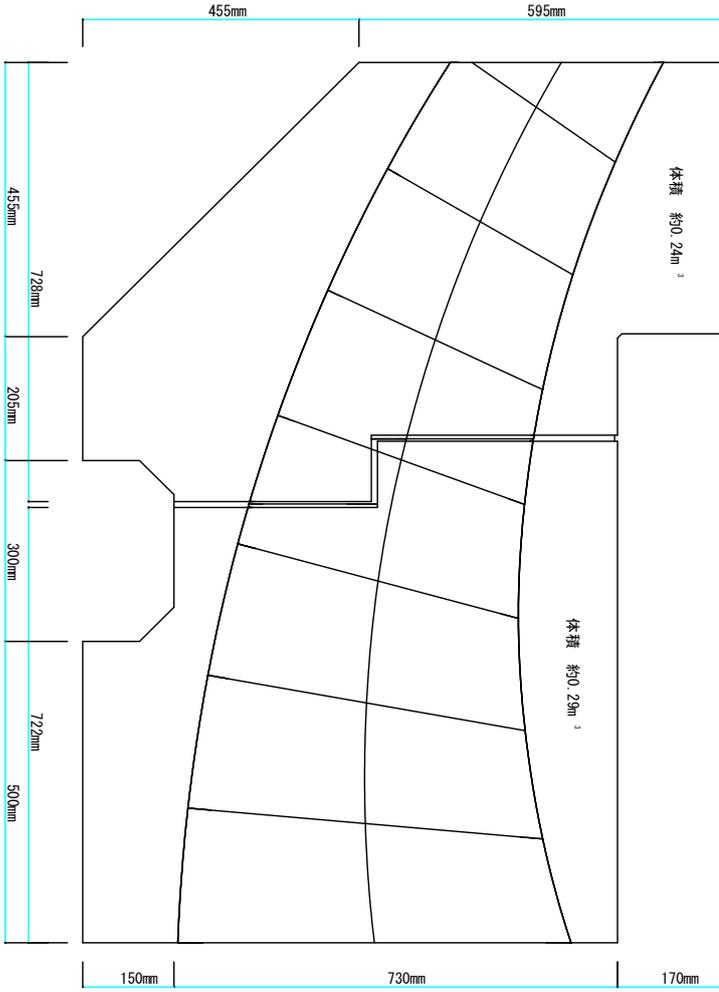
工事概要説明



以前依頼して完了した部分

今回依頼する部分

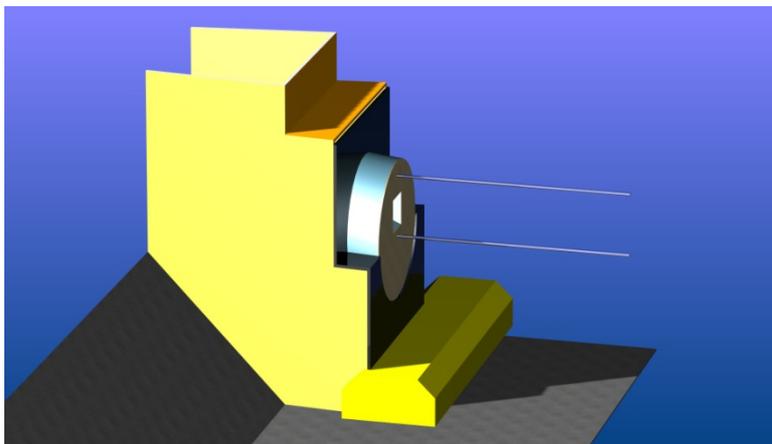




4

コンクリート打ち込みと表面処理説明。

型枠は左右対称に2分割で合計4か所、型枠・ナカゴ・鉄筋の設置は私がやります、コンクリート打ち込み作業は4ヶ所分を2回に分けて実施。(図は片側のみを表示)



1. 山側の型枠・鉄筋・ナカゴの設置

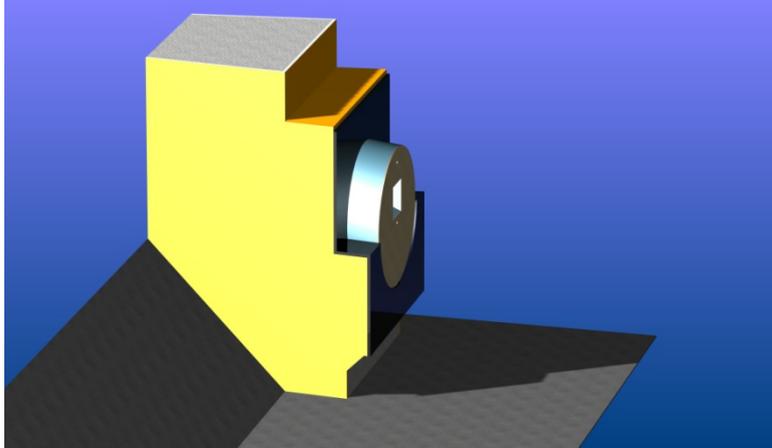
モルタルの種類は以前も使った

BASF

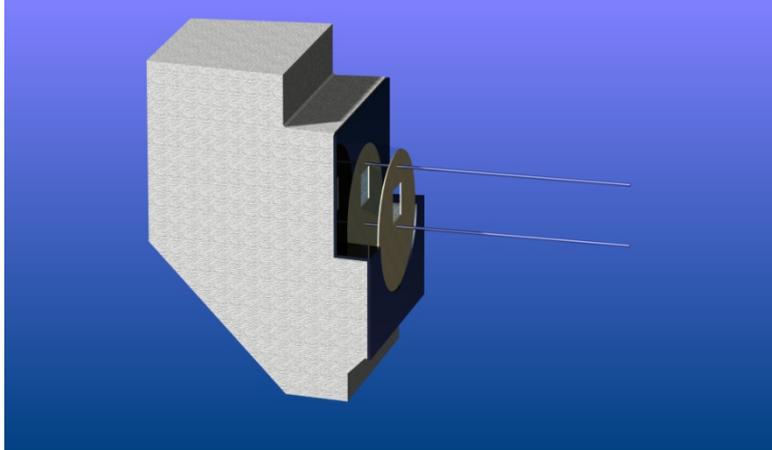
マスターフローエムベコ 880 グラウト

(金属系骨材プレミックス)

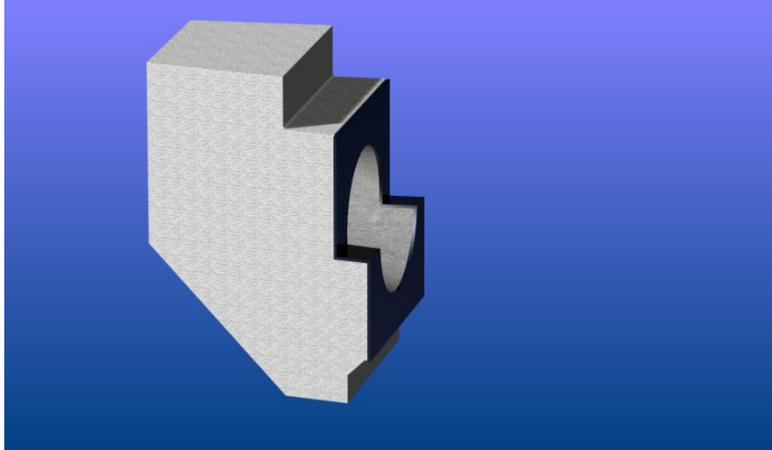
カタログ添付



2. コンクリートの打ち込み

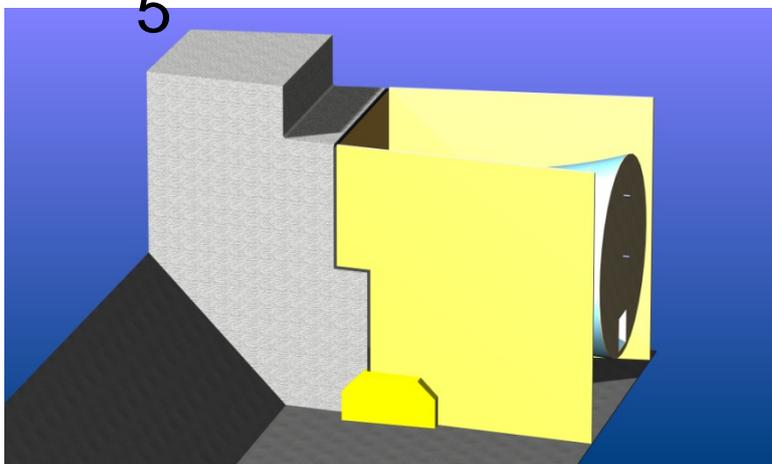


3. 型枠の除去

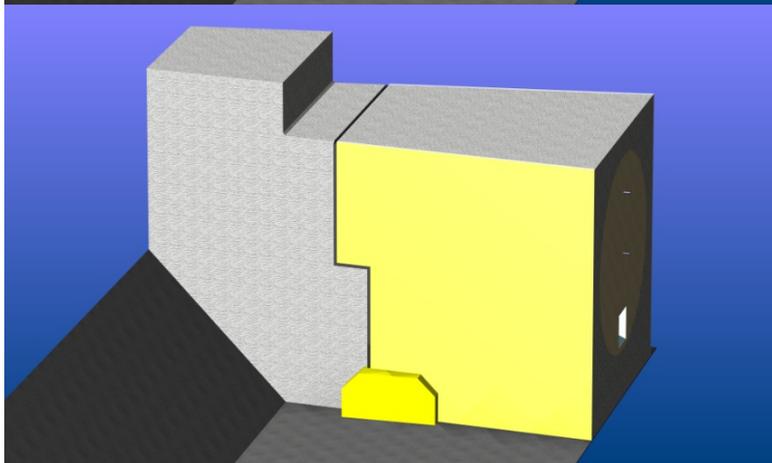


4. ナカゴの除去

5

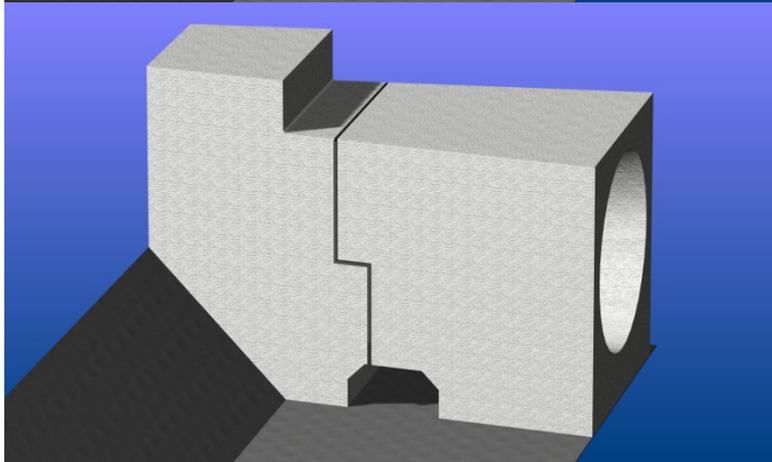


5. 型枠・鉄筋・ナカゴの設置



6. 残り部分へコンクリートの打ち込み

その後 3. 4. と同じ作業、



7. 完成後、

コンクリート表面保護の処理

(例:表面強化浸透性防塵シーラ剤)

2. の最初のモルタル打ち込みは、1月中旬、6. 迄、私が2週間の作業日をし、7. は更に2週間後を予定しています。

山側の必要モルタル量は 0.24m^3 を2か所、部屋側の量は 0.29m^3 を2か所、グラウト材1袋での仕上がり量、約11liter、

合計必要量 約 $1.06\text{m}^3 \approx 97$ 袋(25Kg/1袋)。

底の部分は通常の河砂骨材のコンクリートでも可能ですが、ナカゴの部分は指定通りの材料で巣の出来ない様に打ち込みます、尚、鉄筋類も私が設置します。

寸法が判るように、3面図を添付してあります。



特殊セメント系/金属骨材系
高性能無収縮グラウト材

マスターフロー® エムベコ880グラウト

(旧名:エムベコ880グラウト)

MASTERFLOW EMBECO 880 GROUT

 **BASF**

The Chemical Company

特殊セメント系/金属骨材系
高性能無収縮グラウト材

マスターフロー[®] エムベコ880グラウト

(旧名: エムベコ880グラウト)

マスターフロー エムベコ880グラウトは、各種グラウト工法分野のうち、主として機械設備類の据付け工事に用いられる特殊な金属骨材を含む無収縮グラウト材で、特に機械設備類の運転時に生じる大きな衝撃荷重や繰返し荷重等の動荷重を十分支持し、基礎部に均一に伝達することができます。また、流動性に富み、無収縮性で安定した強度発現性と耐久性を有します。

マスターフロー エムベコ880グラウトは、使用時に水のみを加えてミキサで均一に練り混ぜることによって、常に品質の安定したグラウトが得られる「すぐ使える」プレミックスタイプの製品です。

特長

1. 施工性(流動性)

流動性が優れているため、ライナーパッドやアンカーボルト等の介在物の隅々まで間隙部を充填することができます。

2. 無収縮性

所定のコンシステンシーの範囲内で練り混ぜられたグラウトは、材料分離やブリーディングが無く、安定した無収縮性を示します。

3. 耐衝撃性

特殊な金属骨材の効果により、大きな衝撃荷重や繰返し荷重に対して、長期間にわたって安定した耐衝撃性を示します。

4. 強度特性

初期および長期強度とも安定した高強度を発現します。

5. 耐久性

乾湿の繰返し、温度変化あるいは凍結融解等の環境条件に対して、優れた耐久性を示します。

6. 耐熱性

優れた耐熱性を示します。

用途

- 各種機械設備類の据付け工事
(圧延機、モーター、タービン、コンプレッサー等)
- 土木・建築構造物の据付け工事
(大型鉄骨柱、原子力関係等)

使用方法

1. マスターフロー エムベコ880グラウトは「すぐ使える」プレミックスタイプの製品ですので、使用時に所定量の練混ぜ水を加えて、ミキサで均一に練り混ぜてから使用してください。
2. 使用水量は、材料温度、気温およびミキサの性能等によって多少左右されます。注入施工に適した軟度のグラウトを得るには、1袋当たり3.8～4.4ℓの範囲で使用してください。
3. 1袋当たりの練上り量は約11ℓで、1m³当りの標準使用量は2,250kg(25kg×90袋)になります。



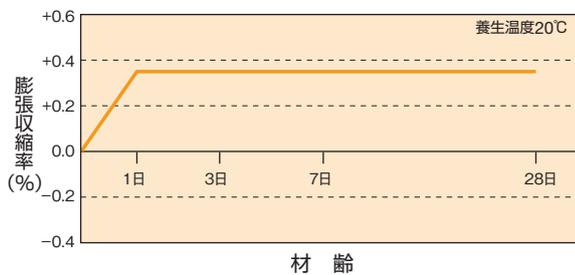
仕様

1m ³ 当りの標準使用量 (kg)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシー (J14漏斗流下時間・秒)	練上り温度 (℃)	可使用時間 (20℃)
2,250 (25kg×90袋)	3.8~4.4	5~11	10~35	約30分

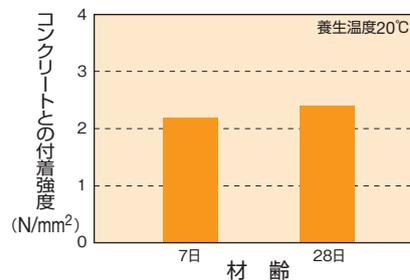
物性試験結果例

環境温度 (℃)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシー ¹⁾ (秒)	練上り温度 (℃)	ブリーディング率 ²⁾ (%)	凝結時間 ³⁾ (時一分)		圧縮強度 ⁴⁾ (N/mm ²)			
					始 発	終 結	1日	3日	7日	28日
5	4.4	5.4	10.0	0.0	11-10	14-40	3.63	28.8	44.3	63.7
20	4.1	6.3	21.0	0.0	4-45	6-00	25.9	45.7	57.4	73.1
30	4.1	5.3	35.0	0.0	2-50	3-30	36.4	54.2	65.8	83.5

● 膨張収縮率⁵⁾



● コンクリートとの付着強度⁶⁾



- 1) コンシステンシー: 上端内径70mm、下端内径14mm、高さ392mmのJ14漏斗を用い、土木学会規準JSCE-F541-1999「充てんモルタルの流動性試験方法」に準じて流下時間を測定した。
- 2) ブリーディング率: 土木学会規準JSCE-F542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 3) 凝 結 時 間: JIS A 1147:2001「コンクリートの凝結時間試験方法」に準じた。

- 4) 圧 縮 強 度: 直径50mm×高さ100mmの円柱供試体を用い、JIS A 1108:1999「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準じた(水中養生)。
- 5) 膨 張 収 縮 率: 土木学会規準JSCE-F542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 6) コンクリートとの付着強度: 建研式接着力試験器を使用した。

施工方法

1. 下地コンクリートの処理と型枠の組み立て

● 下地コンクリートの処理
健全なコンクリート面を露出させ、粗面状態で余剰水のない湿潤面とした上で施工してください。湿潤面にできない場合は、乾燥したコンクリート面に吸水防止材を塗布した上で施工してください。

● 型枠の組立て
一方から注入し、他方に流れる構造とした上で、すき間のないよう堅固に組立て、グラウトがもれないようシールをしてください。

2. グラウトの練混ぜ

グラウトは必ず機械練りとしてください。

3. 注入①(ホッパー圧工法)

※必要に応じて押え型枠を設置してください。

注入②(ヘッド圧工法)

注入③(ポンプ工法)

※必要に応じて押え型枠を設置してください。

4. 養生および仕上げ

※必要に応じて養生剤を使用してください。

施工上の注意事項

1. 本品の練混ぜには必ずミキサを用い、練混ぜ水は水道水またはこれに準ずるものを使用してください。
2. 練混ぜにアルミ製の羽根等を使用した場合、異常膨張する恐れがあるため使用しないでください。
3. 充填間隙が薄い、または厚い場合および無拘束面（外部に露出する面）が大きい場合は、環境条件によりひび割れ等の不具合を生じる恐れがあるため、最寄りの事業所までご連絡ください。

取扱上の注意事項

1. 本品は吸湿性を有する粉末品ですからセメントと同様に取り扱い、袋単位で使用し、破袋または一度開封して放置された製品は使用しないでください。
2. 本品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
3. 取り扱いに当たっては、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
4. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
5. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診察を受けてください。

包装形態 25kg 防湿袋詰

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りの事業所および技術センターまでご連絡ください。

BASF ジャパン株式会社 建設化学品事業部

本社 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階
(代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980

東北エリア 東 北 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-18-21 (タケダ仙台ビル2階) TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634

北海道 〒069-1347 夕張郡長沼町北町2-6-5 (長沼製造センター 2階) TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061

関東エリア 西関東 〒106-6121 港区六本木6-10-1 (六本木ヒルズ森タワー 21階) TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960

北関東 〒260-0028 千葉市中央区新町1-17 (JPR千葉ビル12階) TEL 043-203-1770 FAX 043-203-1772

中部エリア 西中部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-1 (日土地名古屋ビル16階) TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

南中部 〒426-0002 藤枝市横内923 (静岡製造センター内) TEL 054-647-3738 FAX 054-647-3739

北中部 〒943-0834 上越市西城町2-10-25 (大島ビル3階) TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852

関西エリア 東関西 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15 (野村不動産ビル12階) TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244

西関西 〒760-0055 高松市観光通り2-2-15 (第2ダイヤビル5階) TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218

九州エリア 北九州 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 (博多駅前第一生命ビル5階) TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273

中国 〒739-0432 廿日市市上の浜2-1-10 (広島製造センター内) TEL 0829-50-5055 FAX 0829-50-5056

南九州 〒890-0062 鹿児島市与次郎2-4-35 (KSC鴨池ビル3階) TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

技術センター 技術的なお問い合わせ 混和剤製品 TEL 0467-87-8205 建材製品 TEL 0467-87-8207

www.pozzolith.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●方が、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいますようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASF ジャパン(株)建設化学品事業部は、茅ヶ崎工場及び開発・技術センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

